

水産物の市況について(令和6年12月及び令和7年1月)

—東京都中央卸売市場における令和6年12月(令和6年11月21日～令和6年12月20日集計)の市況と、
令和7年1月の市況見通し(前月との比較)—

I 令和6年12月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量(水産物の生鮮品、冷凍品及び加工品の合計)は、前月から横ばいで推移し、前年同月比ではやや増加で推移しました。卸売価格(水産物全体の1キログラム当たり平均価格)は、前月から強含みで推移し、前年同月比ではやや強含みで推移しました。

II 令和7年1月の主要品目の市況見通し

「まいわし(生鮮品)」

三陸～常磐沖を中心にまとまった漁獲が続くと予想され、東京への入荷量は横ばい、卸売価格も横ばいで推移すると見込まれます。

「さけ類(塩蔵品・冷凍品)」

最需要期を過ぎ、東京への入荷量はチリ産銀ざけ主体に減少し、さけ類全般が高値で推移していることから、卸売価格は高値・横ばいで推移すると見込まれます。

「さば(生鮮品)」

三陸～常磐沖は低調に推移するものの、東シナ海は引き続きさば類主体の漁獲が続くとみられ、東京への入荷量は横ばい、卸売価格も横ばいで推移すると見込まれます。

「するめいか(生鮮品・冷凍品)」

全国的に低調な水揚げが続くと予想され、生鮮物の東京への入荷量は少なく・横ばい、卸売価格は高値・横ばいで推移すると見込まれます。

冷凍物は、入荷量は少なく・横ばい、卸売価格は高値・横ばいで推移すると見込まれます。

「あじ(生鮮品)」

山陰や九州を中心に水揚げされるものの、引き続きさば類主体の漁獲となると予想され、東京への入荷量はやや減少し、卸売価格はやや強含みで推移すると見込まれます。

「まぐろ(冷凍品)」

最需要期を過ぎ、東京への入荷量は全体では減少し、卸売価格は高値・横ばいで推移すると見込まれます。

凡例(目安)

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	横ばい	横ばい
3～10	やや増加(減少)	やや強(弱)含み
11～20	増加(減少)	強(弱)含み
21～50	かなり増加(減少)	かなり強(弱)含み
51～	大幅に増加(減少)	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)

(単位:千トン、円/kg)

	12月		前月		前々月	
	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格
6年	29	1,691	29	1,513	28	1,399
前年	28	1,609	28	1,507	27	1,456

注1:入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。

2:入荷量は生鮮品、冷凍品及び加工品の合計。

主 要 品 目 の 価 格

(単位:円/kg、%)

	東京都中央卸売市場卸売価格(概数)			
	12月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
まいわし(生鮮品)	467	81	66	86
さけ類(平均)	1,251	97	86	111
(ぎんざけ塩蔵品)	1,193	90	99	113
(あきさけ塩蔵品)	1,522	113	135	163
(べにざけ塩蔵品)	1,493	87	97	94
(さけ類冷凍品)	1,253	100	82	112
さば(生鮮品)	695	120	105	142
するめいか(平均)	1,749	118	118	166
(生鮮品)	1,697	123	119	163
(冷凍品)	1,806	100	113	165
あじ(生鮮品)	571	93	83	96
まぐろ(冷凍品)	1,730	112	95	98
(めばち冷凍品)	1,076	100	90	90
(きはだ冷凍品)	970	113	88	89
(くろまぐろ冷凍品)	3,706	107	115	109
(みなみまぐろ冷凍品)	2,106	101	101	99

注1:品目により、市場で水産物の大きさ等が異なることから、主要な水産物の価格データを掲載。

注2:12月の価格は1～20日までの速報値を元に算出。平年とは令和元年～令和5年の加重平均値。

注3:さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、べにざけ及びアトランティックサーモンが含まれる。

注4:まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ及びみなみまぐろが含まれる。

問合せ先:水産庁加工流通課企画調査班

代表 03-3502-8111

内線 6618 中島、山崎

直通 03-3591-5613